

# CSR報告書 2013

Hokuriku Electric Industry group CSR report 2013



Manegement



Social report



Environmental report

Sensor Innovation 北陸電気工業株式会社



## センサ技術を革新するHOKURIKU

### 発行にあたって

北陸電気工業グループは、CSR推進を重要課題とさ だめ、お客様、株主・投資家様、お取引先様、従業員、地 域社会をはじめとしたステークホルダーに配慮した経営 に取り組んでまいりました。本レポートの発行を通じて、そ の取り組みをご理解いただき、同時に皆様とのコミュニケ ーションの一助となれば幸いです。

報告対象 北陸電気工業および北陸電気工業グループ会社 対象期間 2013年度(2012年4月1日~2013年3月31日)

Sensor Innovation 北陸電気工業株式会社

# CSR報告書 2013

Hokuriku Electric Industry group CSR report 2013

#### 次 目

	•
北陸電気工業グループ概要	2
マネジメント	
■コーポレート・ガバナンス	6
■コンプライアンス/リスクマネジメント	7
社会報告	
■お客様の満足向上のために	8
■株主・投資家の皆様とのかかわり 1	0
■お取引先様とのかかわり 1	1
■社員とのかかわり······ 1	2
■社会貢献活動 ·······1	4
環境報告	
■環境方針 ·······1	6
■環境目標及び実績・・・・・・・・・・・1	7
■環境マネジメント・・・・・・・・・・・ 1	8
■地球温暖化防止への取り組み1	9
■ ガリーン 細胞	_





Social report



Environmental report

Hokuriku Electric Industry group CSR report 2013

### トップメッセージ

## エレクトロニクス技術の発展を便利で快適な生活に

北陸電気工業は、2013年4月に創立70周年を迎えました。この間、「良い製品をつくり社会の発展につくしましょう」の社訓のもとで、エレクトロニクス技術の発展を便利で快適な生活に結びつける企業として歩んでまいりました。

北陸電気工業は、CSRの実践を基本理念とする「北陸電気工業グループ行動規範」において、良き企業市民として社会的責任を自覚すること、誠実かつ倫理的な事業活動を推進すること、各国法令を遵守し、お客様、株主・投資家、取引先、従業員、地域社会をはじめとした関係者に配慮した経営に取り組むこと、安定的な成長を通じて社会の発展に尽くすことを宣言しています。

本報告書を通して、北陸電気工業グループCSR活動への取組みと 持続可能な社会を実現するための環境活動への取組みをご理解いた だければ幸いです。



1

# 北陸電気工業 グループ概要

## 会社概要

社 北陸電気工業株式会社 名 T939-2292富山県富山市下大久保3158 社 本 TEL(076)467-1111 FAX(076)468-1508 1943年(昭和18年)4月4日 設 17 52億円 資 本 金 発行済株式総数 92,500,996株 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部(証券コード:6989) 連結:45,060百万円(2013年3月期) 売 上高

単体:32,772百万円(2013年3月期)

(従業員数 連結:3,168名(2013年3月31日現在) 単体: 580名(2013年3月31日現在) 営業品目・固定、可変、チップ等各種抵抗器・圧力、加速度、湿度等各種センサ・モジュール製品・ペーストスルーホール基板、圧電製品・サーミスタ・センサ・バリスタ(仕入販売製品) 北陸電気工業 国内:8社 海外:11社 内、連結子会社:16社

(2013年3月31日現在)

### 会社組織図

(2013年3月31日現在) 株主総会 監査役会 取締役会 会 長 社 長 CSR委員会 業務監査部 品質保証部 環境推進室 営業本部 管理本部 ア F 資 Н 高  $\Box$ 開 D 周 セ ポ Κ 発 波 ア マ 大 部 海 中 北 西 静 名 北 情 総 財 経 営 業 東 ガ モジュール開発営業部 1 ネ 技 国 報 材 ク 品 ン バ 務 関 関 古 業 外 京 岡 陸 阪 営 事 営 シ 術 1 事 東 東 ナ セ 屋 デ 事 戦 営 業 営 営 営 営 ス 務 務 戦 業 業 ン 営 営 ン 営 バ 業 本 統 テ 略 業 業 業 業 略 本 タ 本 業 業 業 ス 括 ム 本 部 部 部 部 部 部 所 所 部 室 部 部 部 所 所 所 所 所 部 部 室



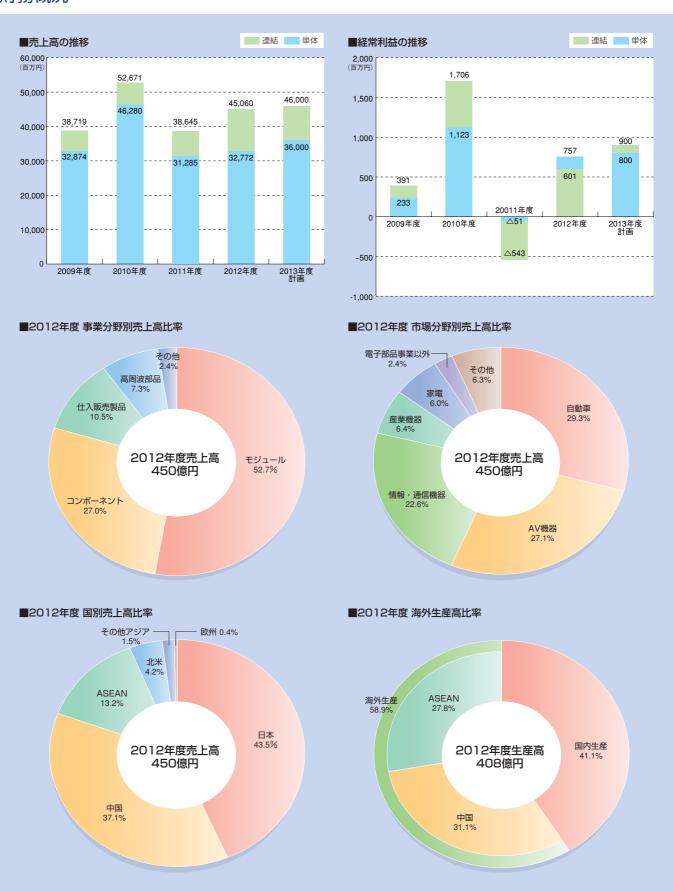




Manegement

Social report

財務概況



## 北陸電気工業 グループ概要

WHITE THE PARTY OF THE PARTY OF

## 



### 国内拠点

#### 本社

## ■営業本部(営業サポート部)・開発技術本部

〒939-2292 富山県富山市下大久保3158 TEL (076) 467-1111 FAX (076) 468-1508

### 高周波部品事業本部

#### 高周波部品工場

T939-2292 富山県富山市下大久保3158 TEL (076) 467-1111 FAX (076) 468-0639

#### ■圧電工場

〒939-2184 富山県富山市楡原西上島3175 TEL (076) 485-2211 FAX (076) 485-2302

### コンポーネント事業本部

### ■機構部品丁場

T939-2292 富山県富山市下大久保3158 TEL(076)467-1111 FAX(076)468-2214

〒939-2292 富山県富山市下大久保3158 TEL(076)467-1111 FAX(076)468-2214

#### ■PRCT場

〒930-0275 富山県中新川郡立山町利田297-1 TEL (076) 464-1265 FAX (076) 463-3694

### ■楡原工場

T939-2184 富山県富山市楡原西上島3175 TEL(076)485-2101 FAX(076)485-2103

### 営業部・営業所 ■東京営業所

〒145-0072 東京都大田区田園調布本町46-14 TEL (03) 3722-1341 FAX (03) 3722-1348

#### ■北関東営業所

〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町4-20 TEL (048) 522-4155 FAX (048) 522-5759

### ■西関東営業所

〒191-0062 東京都日野市多摩平2-12-4 大増家ビル2F

TEL (042) 581-7671 FAX (042) 581-7803

### ■名古屋営業所

〒465-0000 愛知県名古屋市名東区猪高町大字藤 森字森44-1

TEL (052) 775-6131 FAX (052) 775-6133

### ■静岡営業所

T422-8066 静岡県静岡市駿河区泉町2-3 アズマビル3F

TEL (054) 285-8838 FAX (054) 285-8839

#### ■北陸営業所

〒939-2292 富山県富山市下大久保3158 TEL (076) 467-1964 FAX (076) 467-1965

### ■大阪営業所

〒573-0065 大阪府枚方市出口3-1-21 TEL (072) 833-8461 FAX (072) 833-8466

〒145-0072 東京都大田区田園調布本町46-14 TEL(03)5483-3001 FAX(03)3722-7118

### 国内関係会社

### ■HDKマイクロデバイス株式会社

〒930-0814 富山県富山市下冨居2-12-15 TEL (076) 443-9450 FAX (076) 443-9610

海外営業部

#### ■朝日電子株式会社

〒939-0722 富山県下新川郡朝日町大家庄358-1 TEL (0765) 82-1740 FAX (0765) 82-1739

### ■北陸アイシー株式会社

〒930-0814 富山県富山市下冨居2-12-15 TEL (076) 443-9450 FAX (076) 443-9610

### ■北陸精機株式会社

〒939-3555 富山県富山市水橋市田袋1-1 TEL (076) 479-1625 FAX (076) 479-1626

### ■北陸興産株式会社

〒939-3555 富山県富山市水橋市田袋1-1 TEL (076) 479-1808 FAX (076) 479-1807

### ■ダイワ電機精工株式会社

〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ケ原673-23 TEL (048) 532-7100 FAX (048) 530-5151

### ■呉羽セラミック株式会社

〒930-0106 富山県富山市高木西163 TEL(076)436-1500 FAX(076)434-4895







Social report



Environmental report





東京営業所



大阪営業所





上海広電北陸微電子

天津北陸電気有限公司 北雷マレーシア





HDKタイランド

HDK Philippines Inc.

北陸電気(広東)有限公司

### 海外拠点

### ■Hokuden(Malaysia) Sdn. Bhd.

PTB 111, 244-250 Jalan Tun Mutalib 3, 81440 Bandar Tenggara, Johor Darul Takzim, Malaysia Phone:60-7-896-3200 Facsimile:60-7-896-3199

### ■HDK(Thailand) Co., Ltd.

68 Moo 2, Hi-Tech Industrial Estate, T Bhanphao, A. Bangpa-In, Ayudthaya 13160, Thailand

Phone:66-3535-0233 Facsimile:66-3535-0232

### ■Tianjin Hokuriku Electric Industry Co., Ltd.

No.38, Bao Yuan Road. Jinnan Economic Development Area, Jinnan-Qu, Tianjin, China Phone:86-22-8851-9787 Facsimile:86-22-8851-6813

### ■Hokuriku Electric(Guang Dong) Co., Ltd.

Jiao-She Zone, Dong-Keng Town, Dong-Guan, Guang Dong, China Phone:86-769-83381868 Facsimile:86-769-83880629

### SVA-Hokuriku Micro Devices Co., Ltd.

No.428 Tian Ying Rd. QingPu Industrial Rark Shanghai, China Phone:86(21)-6922-5228 Facsimile:86(21)-6922-5298

### ■HDK Philippines Inc.

Main Avenue Corner 3rd Street Rosario, Cavite 4106, Philippines Phone:046-437-0628 to 0631 Facsimile:046-437-1776

#### ■HDK America Inc.

200N. Northwest Highway, Suite 201 Barrington, Illinois 60010, U.S.A. Phone: 1-847-382-9411 Facsimile: 1-847-382-9412

#### HDK China Ltd.

Section C. 4/F., First Group Center 14 Wang Tai Road, Kowloon Bay, Kowloon, Hong Kong Phone:852-2-318-0997 Facsimile:852-2-318-0932

#### ■Hokuriku(Shanghai) International Trading Co., Ltd.

Unit 17A1.No585, Hua Fu Building, Long Hua West Road, Shanghai, China Phone:86-21-6428-6448 Facsimile:86-21-6469-4498

### ■Hokuriku(Shanghai) International Trading Co., Ltd. Wuxi Representative Office

Room 714. Baishida Building, Changjiang North Road, Wuxi, Jiangsu, 214028 China Phone:86-510-8525-9973 Facsimile:86-510-8525-9913

### ■Hokuriku(Singapore) Pte., Ltd.

2Jurong East St.21 #04-02B, IMM Building Singapore 609601 Phone:65-6861-0995 Facsimile:65-6861-3664

### ■Hokuriku International (Thailand) Co., Ltd.

U.M. Tower, 21st Floor 9 Ramkhamhaeng Road, Suanluang Bangkok, Thailand 10250 Phone:66-2-369-3633 Facsimile:66-2-369-3630

### ■Taipei Hokuriku Electric Industry Co., Ltd.

5F No.274, Song Chiang Road, Taipei, Taiwan, R.O.C. Phone:886-22-522-2252 Facsimile:886-22-537-4111

### Han Ryuk Electronics Co., Ltd.

785-4, Wonsi-Dong, Ansan-City, Kyungki-Do, Korea

Phone:82-2-856-1041 Facsimile:82-31-493-8805

### ■Hokuriku Hong Kong Co., Ltd.

Unit 2-3,9F, Fook Hong Ind. Building, 19 Sheung Yuet Road, Kowloon Bay, Kowloon, Hong Kong Phone:852-2-755-8073 Facsimile:852-2-795-7199

## コーポレート・ガバナンス

北陸電気工業グループは、コーポレート・ガバナンスを経営の最重要課題のひとつと認識し、 健全で信頼される経営に取り組んでいます。

### 基本方針

経営の効率性・透明性を向上させ、株主・ 投資家様、お取引先様、従業員、地域社 会等のステークホルダーの立場に立って、 企業価値を最大化することをコーポレート・ ガバナンスの基本方針としています。

### 取締役会

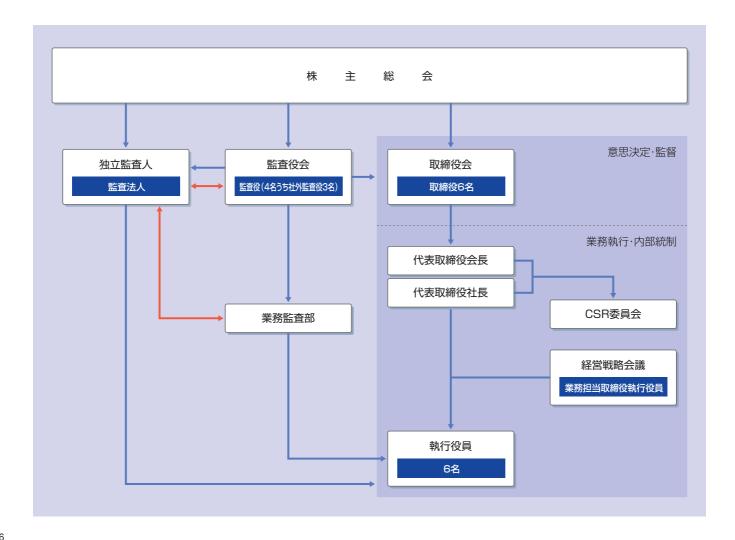
取締役会は、取締役6名で構成されており、ステークホルダーの視点を重視した経営の基本的な意思決定と業務執行の監督を行っています。また、重要な業務の迅速な執行を図るために、業務担当取締役および執行役員を中心として経営戦略会議を設置しています。

### 監査役会

監査役会は、監査役4名で構成されており、うち3名は社外監査役です。経営監視機能を充実させているとともに、随時、監査法人および業務監査部から報告および説明を受け、幅広く監査を実施しています。

### 内部監査部門

内部監査部門として業務監査部を設置しており、監査役会および 監査法人と連携し関係会社を含めた業務の監査を行っています。 また金融商品取引法に基づく内部統制報告書に係る内部統制の 整備、運用を行います。



## コンプライアンス / リスクマネジメント

北陸電気工業グループは、高い倫理観を持ってコンプライアンス(法令遵守)やリスク管理体制整備に取り組んでいます。

### コンプライアンス基本方針

「北陸電気工業グループで働く役員および 従業員は、企業の社会的責任を自覚し関 係法令および社内規範を遵守することによ り社会の信頼を得られる行動をとること」を 行動規範に定め、その実践に努めています。

### コンプライアンス部会

CSR委員会の中に、コンプライアンス部会を設置し、コンプライアンスの推進を図っています。

事業活動において遵守すべき基本方針として、北陸電気工業グループ行動憲章を策定し、国内はもとより中国語、英語に翻訳して海外関連会社のすべての役員および従業員に徹底しています。また北陸電気工業グループ行動憲章を実現するために、日常の業務のなかで遵守すべき行動の指針として北陸電気工業グループ行動規範を定めコンプライアンスの啓蒙と定着を進めています。

### 通報窓口の設置

コンプライアンスに関する相談または違反情報に対応するため、社 内通報窓口を設置しています。

### リスクマネジメント基本方針

会社の経営に重大な影響をもたらす事項を緊急事態と定義し、その予防に努めると同時に緊急事態が発生した場合の管理体制および事業継続計画を定めています。

### リスクマネジメント緊急事態対策

緊急事態が発生した場合には、本社に対策本部を設置し、現場責任者が組織する現場対策委員が対策本部長の指示のもとで事態に対応します。緊急事態管理マニュアルの作成と社員教育により緊急事態発生時の初動動作と復旧活動を的確かつ迅速に行える体制をとっています。

### 事業継続計画(BCP)

地震等の災害が発生した際、従業員の安全確保と二次災害の発生を防止すること、また災害で被害を受けても重要業務を中断させないこと、お客様への製品の供給責任を果たすことが重要であり、 事業継続計画を定めてその体制を整えています。



消防訓練



## お客様の満足向上のために

北陸電気工業グループは、お客様のニーズと様々な要望に応える体制を構築し、幅広く収集した情報を基に、高品質で安全な製品設計と環境第一のもの作りを基本として、常にお客様の満足が得られる製品・サービスをW/Wで提供することをモットーとしています。

### 品質保証基本方針

## お客様・社会と共存共栄を基本信条に 品質保証基本方針を定め、実践しています。

### 品質保証の基本(信条)

お客様・社会に満足してもらえる製品を提案し、提供する ことにより、共に繁栄を目指します。

### 品質保証基本方針

国際水準の品質設計及び社会的要求に応える品質設計 国際的な視野に立って、高度・多様な社会的要求にも応え得る新技術を開発し、蓄積された技術に裏づけされた品質設計を行います。

### 製品別品質管理体制の確立

製品別に開発から販売にいたる責任体制を構築し、市場の要求性能に合致した品質保証を行います。

### 源流での品質保証

プロセスの源流で品質を作り込みます。

### サービスの徹底

誠実誠意のサービスを実践します。

### 国際規格の認証取得

## 品質の継続的改善に取り組んでいます。

国内・海外の生産拠点で、環境マネジメントシステムの国際規格 ISO14001と、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001、自動車業界の国際規格であるISO/TS16949を認証取得しています。地球環境にやさしいもの作りと国際品質管理システムの下、3 現主義で継続的に品質を改善しています。

### 北陸電気工業グループ 品質マネジメントシステム認証取得状況

事業所名	IS014001 2004	IS09001 2008	ISO/TS16949 2009
北陸電気工業㈱全工場	'05/05/27切替え		
高周波部品事業本部	同上	'10/03/20切替え	
機構部品工場	同上	'10/05/08切替え	'10/04/28切替え
皮膜工場	同上	同上	
PRC工場	同上	同上	
HDKマイクロデバイス(株)	同上	'08/12/11切替え	
朝日電子㈱	'06/02/06切替え	'10/06/30切替え	'10/04/27切替え
北電マレーシア	'05/10/29登録		'10/04/13切替え
北陸電気(広東)有限公司	'06/09/06切替え	'10/11/16切替え	
天津北陸電気有限公司	'07/10/16登録	'10/10/26切替え	
HDKタイランド	'09/04/28登録	'09/10/08切替え	
上海広電北陸微電子	'07/03/27登録	'08/11/17切替え	
HDKフィリピン	'06/03/16登録	'10/04/28切替え	'10/04/17登録

#### 2013年4月1日現在

### 製品認定システム

お客様のニーズを的確に捉え、構想設計から量産に至るまで各段階で設計審査を実施し、安全で環境にも対応した高品質の新製品を生み出すシステムを構築しています。

### ■製品開発認定フロー(本社認定対象品)

Section	Process
営業部門	顧客ニーズ収集
設計部門	新製品開発計画
	<b>V</b>
	構想設計審査
	<b>V</b>
	基本設計·試作
	<b>V</b>
	試作設計審査
	<b>V</b>
	詳細設計·量産試作
	- N/ - D - I - D - I
	量産試作設計審査
	=300045,-204,4404
	認定用サンプル抽出
/= 拓州=+昨4->, 力	₹ =\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
信頼性試験センター	認定試験
設計部門	認定申請
	<b>V</b>
本社認定部門	本社認定
	本社登録
	<del>-</del>
製造部門	事業本部確認
	<b>V</b>
	量産移行
	初期流動管理





### 信頼性試験センター

### お客様の品質要求に応えるために。

信頼性試験センターでは、環境試験設備、各種計測器を備え、設計から量産の各段階で作られた製品の長期信頼性試験、電気・物理的測 定、定期試験などに常時対応しています。また、製造検査部門で使用する計測器類の定期校正を実施しています。新製品の開発、量産製品 の性能や品質の解析のために各種分析設備を備え、社内の開発部門、製造部門をサポートするとともに、お客様の品質要求に応えています。

#### ■試験設備

低温/高温/耐湿など各種環境試験槽



冷熱衝撃試験装置







ガス腐食試験装置



衝撃試験機



■校正設備







#### ■分析設備





フーリエ変換赤外分光分析装置(FT-IR)

蛍光X線分析装置





### 苦情への対応

万一製品に不具合が発生した場合はお客様の窓口である営業部門、製造部門、品質保証部門などの全社対応で、不具合品の処置、原因 の究明、対策の実施及び再発防止を迅速に実施します。

### クレーム処理方針

- ●お客様第一主義とし、全社的臨戦体制で対応します。
- ●お客様の損失を最小限にするため迅速・的確な処理を行います。
- ●真の原因を把握し、再発防止の確認が出来るまでフォローします。
- ●クレームの要因分析結果及び対策は、類似製品、他事業所等へ水平展開します。
- ●改善活動の報告は、お客様の立場に立って情報を随時報告しお客様に活動状況が見えるような報告をします。



## 株主・投資家の皆さまとのかかわり

北陸電気工業グループは、株主・投資家の皆さまに企業の概要、経営戦略、業績などの情報を 適時かつ適切に開示するとともに、IR (インベスター・リレーションズ)活動を通じて 積極的に株主・投資家の皆さまとコミュニケーションを図るよう取り組んでいます。

### 情報開示の基本方針

北陸電気工業グループは、株主や投資家、証券アナリストの皆さまに向け、証券取引法や上場している証券取引所の適時開示規則に基づき、公正かつ正確な情報を迅速に開示することが重要であると考えています。また、積極的な情報開示の継続により、経営の透明性を高めるとともに、適確な投資判断に必要となる情報の開示に努めています。

### IR活動

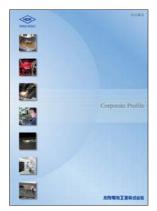
北陸電気工業グループでは、国内の機関投資家や証券アナリストの皆さまに対して、個別取材の対応により決算概要や事業環境、 戦略製品の動向に関して説明させていただき、資本市場との直接 対話に努めています。個別取材では、IR資料として四半期決算ご とに決算説明資料を作成し説明させていただいております。また、 株主の皆様へは中間決算時と本決算時に「中間報告書」「報告書」を発行し送付させていただいております。

### ホームページによる情報開示

北陸電気工業グループでは、個人株主・投資家の皆さまにもタイムリーに情報提供するため、ホームページにIR情報のページを設けています。昨年のホームページリニューアルに合わせIR情報も見直しをかけ、業績推移や売上構成を掲載している決算ハイライトも中身を充実させると共にグラフなどでビジュアル化し、より見やすく、わかりやすい内容といたしました。

## 株主総会

北陸電気工業グループは、株主総会を株主の皆さまに当社経営の取り組みへの理解と支援をいただくための重要なコミュニケーションの場と考え、株主総会では、わかりやすく丁寧な説明を心がけております。また、株主の皆さまからより多くのご意見を頂戴できるよう、株主総会終了後の時間を利用して株主の皆さまとオープンな意見交換の場を設けており、当社をより身近に感じていただき、株主の皆さまから幅広いご意見やご質問を受け付けています。そこでいただいたご意見・ご要望は、企業活動に適切に反映させるよう努めています。



会社案内



...

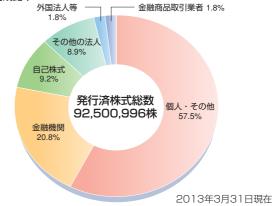


第78期 報告書



WEBサイト(IR情報) http://www.hdk.co.jp/japanese/ financ\_j/fnc000\_j.htm

### ■株主の構成比率



#### ■2012年度IRカレンダー

		13000										
	2012年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2013年 1月	2月	3月
株主総会			● 村	     	28日)							
決算発表		●本決算	(11日)		●1Q決算	章(10日)		●中間決	算(9日)		●3Q決算	拿(8日)



## お取引先様とのかかわり

北陸電気工業グループでは、お取引先様との信頼関係を大切にし、 共存共栄できる関係を築くことが重要であると考えています。

また、お取引先様と共に法令遵守・環境保全に努め、サプライチェーン全体でCSR促進体制を構築し、より高い価値の創造を目指します。

### 購買方針

- ●法令、社会規範を遵守し、モラル(倫理観、責任感)に 基づいて行動します。
- ●公平·公正·誠実に行動し、お取引先様と対等で良好な関係の構築を図ります。
- ●資源保護や環境保全など企業の社会的責任を果たす努力を継続します。
- お取引先様と友好的かつ、相互の信頼関係に基づき、 強固なパートナーシップの構築、相互発展による共存 共栄できる継続的な取引を行います。
- ●購入する資材を、国内外問わず、品質、コスト、納期などから合理的に選択します。
- ■暴力団を始めとする反社会的勢力と関係のある企業とは取引をいたしません。
- ●お取引先様から知り得た情報を、自社内の同種の情報と同様に取り扱うとともに、承諾なしに第三者に開示しません。

### 方針説明会の開催

●事業計画および購買方針について説明会を開催し、 お取引先様との相互理解を深め共存共栄できる関係 を築いています。



## グリーン調達

- ●北陸電気工業グループでは、グリーン調達ガイドライン を策定し、お取引先様に対するグリーン調達を実施し ています。
- ■環境に配慮した購買業務に取り組むため、お取引先 様と連携をとり環境負荷の少ない資材調達を行います。
- ●お取引先様に対し、環境監査を実施します。

### CSR/BCM調達

- ■環境関連活動、情報セキュリティ、災害対策において 定期的にお取引先様から情報をとりよせ評価を行って おります。
- ●お取引先様に対してもCSR/BCMに配慮した事業 活動を積極的に行っていただけるようお願いしています。

### 紛争鉱物問題への対応

●米国の金融規制改革法(ドッド・フランク法)第1502条 の趣旨に賛同し責任ある鉱物調達を推進します。

### ※紛争鉱物

コンゴ民主共和国およびその周辺諸国の紛争地帯で産出され武装勢力の資金源となっている鉱物 (タンタル、錫、金、タングステン)。その採掘と取引が暴力行為、略奪、虐待、人身売買、児童労働などの非人道的行為を行っている武装勢力の資金源となっている。

### ※ドッド・フランク法第1502条

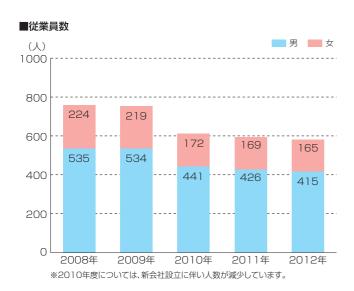
米国の証券取引所に上場している企業は自社製品への紛争鉱物の使用有無についてサプライチェーンを遡って合理的な原産国調査を実施し、米国証券取引委員会への報告とWeb上での開示を義務付ける。

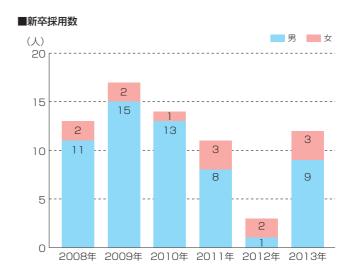




## 社員とのかかわり

北陸電気工業グループでは、企業の持続的な成長を図る上で「企業は人なり」の言葉通り、 人材を「人財」として捉え、一人一人の個性を大切にし、 社員が安心して活き活きと働ける企業風土づくりを目指しています。





### 多様化への取り組み

少子高齢化社会を迎え、 多様な人材の活躍の場を広げ、 様々な社会変化に対応できる様、 取り組みを進めています。

### 仕事と家庭の両立支援

少子高齢化が急速に進む中、企業には社員の仕事と生活の調和 (ワークライフバランス)を支援する取り組みが求められています。 次世代育成支援対策推進法や改正育児介護休業法等に基づき取り組みを進め、社内制度を充実させています。子の家族手当の支給年齢上限を20歳までとしていましたが、2012年度より支給年齢上限を22歳までに引き上げました。また、不妊治療のための休暇や休業について制度化しました。

### 継続雇用制度

社員にとって働きがいのある会社であるために2006年4月より継続雇用制度を導入し豊富な知識、経験を有する人材の積極的な活用を図っています。60歳の定年後も引き続き勤務を希望する社員に対して65歳までの雇用継続を定め、多くの社員に活躍の場を提供しています。

### 障害者雇用の促進

北陸電気工業グループでは、さまざまな障害を持つ社員が他の社員と一緒に働いています。職場環境面では、出入り口に傾斜を設けるなど対策を進めています。

### ■育児休業取得者数



### 社員の安全と健康確保

北陸電気工業グループでは、

「社員の安全と健康を守る事を最優先にする」 を基本に安全衛生の向上に努めています。

### 労働安全衛生

継続的な安全衛生活動を通じ事故の未然防止に取組んでいます。 また、5S活動・産業医による工場巡視・安全衛生パトロールを行い、 職場環境の改善に努めています。

### 定期健康診断、成人病健診等

社員の健康管理については、時間外労働の多い社員や健康に不 安を抱える社員に対する産業医の面談や定期健康診断に基づく 健康指導などを行い、社員の健康増進を支援しています。また、 2012年度よりインフルエンザの予防接種を社内で実施し、社員の 健康管理をバックアップしています。

### リフレッシュ休暇制度、メンタルヘルスケア

最近は、企業で働く人の心の健康を維持することが大きな課題と なっています。北陸電気工業では、社員の悩みや心配事の相談に 応じると共に公的機関のカウンセラー紹介や、管理者向けにメンタ ルヘルスセミナーを実施しています。また、勤続年数によって連続 で有給休暇を取得できるリフレッシュ休暇制度を設け、文字通り心 身のリフレッシュに役立てています。

## 社員とその家族の豊かな生活を支援

社員とその家族の生活がより豊かで 安定したものとなる様、 さまざまな施策を行い支援しています。

### 福利施策

社員の自助努力や自立を支援する新たな福利厚生として従来型の 保養所契約や各種慶弔金制度に加えて住宅の購入補助制度や 一定の勤続期間の後、自らの活躍の場を他分野で選択される場合、 それをサポートするセカンドライフプラン制度を導入しています。







宇奈月クリスタルバリー 立山国際ホテル

山田温泉 玄猿楼

### 人材の育成と活用

北陸電気工業グループでは、 社員の能力を最大限引き出すこと、 そして業績や努力を公正に評価する事が 重要であると考え、

人材を育成・活用するコース制度や キャリア開発支援に注力しています。 通信教育や社内・外セミナーの受講費用は 基本無料で実施しており、 今年度延べの通信教育講座修了件数は 700件を突破しました。

- ●チャレンジコース制度…グローバル人材の育成
- ●キャリア開発支援……目標管理制度、自己申告制度
- ●教育制度………通信教育、社内・外セミナー、 語学教育(英語·中国語)
- ●産学官連携 ········ MEMS等の最先端電子技術 の研究開発



英語会話



中国語会話

### ■社員のコメント



現在、私は総務部人事・教育グループにて、勤務 管理や給与計算、健康管理関連業務など、幅広 く業務をこなしています。様々な従業員と接す る機会が多く、気を使うことが多々ありますが、 やりがいをもって日々の業務に励んでいます。 北陸電気工業ではワークライフバランスを重要 と考え半日有給休暇の取得や短時間勤務、育児 休業制度など、男女とも働きやすく、安心して働

くことができる環境が整っています。また、通信教育などの教育制度が 充実しているため、いろんな講座を受講でき、会社が能力開発をバック アップしているところに魅力を感じています。



## 社会貢献活動

北陸電気工業グループは、地域社会との共生を考え、 良き企業市民として地域に密着した企業を目指し、 社会貢献活動を展開しています。

### 地域清掃活動

# 本社をはじめ各製造拠点や営業所で地域清掃活動を実施しています。

毎年定例となりました地域清掃活動として、2012年8月3日に本社周辺道路の清掃、除草を実施いたしました。会社役員をはじめとした約200名の従業員が参加しました。また、国内の各製造拠点や営業所においても同日にそれぞれの地域で清掃活動を実施しています。







### インターンシップ活動

## 地元の大学生や高校生を中心に毎年実施。

北陸電気工業グループでは、地元の大学や高校を中心とした学生に就業体験の場を提供するインターンシップの主旨に賛同し継続的に実施しております。2012年度も数回に渡り実施し多くの学生の方々にご参加いただきました。また、過去に当社にてインターンシップを経験された方が入社いただけたなど、継続してきたことによる成果も現れてきております。



### 地域のイベントへの協賛

# 地元のイベントやお祭りに積極的に参加しています。

本社の所在地である富山県で開催されるイベントやお祭りには地域企業の一員として参加すると共に、地域活性化の一助になることを願い積極的に協賛しています。



願念坊祭

■協賛しているイベント(抜粋)

●大沢野花火大会 ●猿倉山フェスティバル ●神通峡美術展

### スポーツ活動支援

次世代を担う子どもたちの健全な育成と地域スポーツの活性化を願い各種スポーツ活動を支援しています。





すもう大会

### ■協賛しているイベント(抜粋)

- ●ジュニアチャンピオンズカップ(サッカー)協賛
- ●地元ジュニアローラースキー大会協賛
- ●大沢野少年すもう大会協賛

地域の活性化を支援する為に富山のサッカークラブチーム 「カターレ富山」への支援も行なっております。



富山のサッカークラブチームへの協賛

### 交通安全・防災運動への協力

年2回の交通安全運動週間において、各製造拠点にて通勤通学路で社員による交通安全指導を行うと共に防災訓練として消火訓練を定期的に行っております。





## 献血活動

日本赤十字社、富山県赤十字血液センターへの協力事業として、 献血活動を行っています。2012年度は70名以上の従業員が協力 いたしました。



## 環境方針

北陸電気工業グループは、持続可能な社会を目指し、

企業活動のあらゆる面で環境保全に配慮して行動する事を環境方針として宣言しています。

### 北陸電気工業グループ環境方針

### 環境理念

北陸電気工業グループは、地球環境の保全が人類共通の重要課題の一つであることを認識し、持続可能な社会の構築に向けて企業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮して行動する。

### 環境方針

北陸電気工業グループは、電子部品メーカーとしてその生産に伴う事業活動及び製品、サービスが環境に与える影響を的確に捉え、環境マネジメントシステム(EMS)に基づき環境保全活動を推進する。

### 環境目的・目標の制定及び継続的な改善

- ①技術的、経済的に可能な範囲で環境目的·目標の 制定及び定期的な見直しを行う。
- ②環境保全活動及び環境パフォーマンスの継続的 な向上を図る。

### 法規制及びその他要求事項の遵守

環境関連の法律、法規制、条例、その他受け入れを決めた要求事項を遵守するに止まらず、技術的、経済的に可能な範囲で自主基準を制定し、一層の環境保全に取り組む。

### 環境汚染予防及び環境負荷の低減

北陸電気工業グループは、環境汚染の予防に努めると共に、 生物多様性の保全に配慮しつつ、事業活動及び製品・サービ スが環境に与える影響の中で、特に以下の項目について優先 的に保全活動を推進する。

- ①事業所施設のエネルギー及び資源の使用効率を 高め、省エネルギー、省資源化を図る。
- ②紙類の使用を削減すると共に、廃棄物の管理、適切な処理、削減、回収及びリサイクルを図る。
- ③生産プロセスでの取り扱い或いは製品に含有する 事により環境に負荷を与えるようなオゾン層破壊物 質及び有害化学物質等の削減・代替を推進する。



## 環境目標及び実績

北陸電気工業グループは、環境目標を設定して、環境管理実施計画を策定し、 実施の評価と改善を繰り返すこと(PDCAサイクル)で効果的な環境活動を推進しています。

2012年度の実績の概要は以下の通りです。

- ①環境関連法規制及び顧客要求事項への適合性については、違反、罰金、過料はありませんでした。また、環境問題に関しての訴訟、近隣からの苦情もありませんでした。
- ②LCA (ライフサイクルアセスメント) については、北陸電気工業グループ製造の代表2品種について環境配慮設計を行い、CO2排出量5%削減に取り組みましたが、目標達成には至りませんでした。
- ③環境負荷低減については、CO2排出量前年度比1%削減、及び廃棄物重量前年度比1%削減に取り組みました。結果として、総量及び 売上金額原単位とも目標達成となりました。

具体的な施策としては、CO2排出量削減では、空調設備の運転管理・省エネ対策、コンプレッサーの運転管理・使用台数削減、乾燥炉の設定変更・断熱・保温、高効率照明の採用及び生産体制の見直しをメインに取り組みました。また、夏場の電力需給の厳しい状況において電力会社からの節電協力依頼に対して、平日昼間の電力のピークカットに積極的に取組みました。廃棄物重量削減については、工程不良削減よる廃棄物の発生の抑制及び再資源化に努めました。

④地域社会とのコミュニケーションとしては、事業所毎に地域に併せたクリーン活動を実施しました。

2013年度も引き続き目標達成のための取り組みを推進していきます。

## 環境マネジメント

北陸電気工業グループは、環境マネジメントシステム(EMS)の構築を全社的に進め、環境リスクを考慮しながら、事業活動のあらゆる側面から環境活動を推進し継続的に改善しています。

### ISO14001認証取得状況

### 国内グループ一括にてISO14001認証取得。

北陸電気工業グループの国内生産拠点は、2003年3月にISO14001を認証取得しました。 その後、2006年2月には弊社関連会社も含めた環境マネジメントシステム (EMS) としてISO14001認証を取得しました。 また、海外の生産拠点においても2009年4月までに全ての拠点でISO14001認証を取得しています。

## 環境マネジメントシステム全体像

## さらなる向上を目指し 様々な活動を進めています。

北陸電気工業グループでは、環境委員会を中心とした体制により、 環境マネジメントシステムの維持向上及び環境品質の向上を目指し 様々な活動を進めています。全社の環境方針や活動目標は各事業 所へ展開され、各事業所は、これをもとに自身の目的目標を設定し環 境保全活動を実行します。

これらの活動経緯は内部環境監査のほか環境委員会でチェックされ 是正が図られます。最後に各事業所の活動実績の把握と見直しを 行い、次年度の全社目標に反映します。

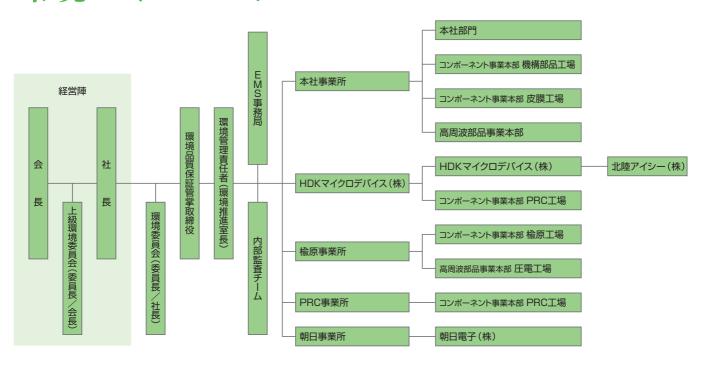
また、2008年度から環境負荷低減活動の活性化を図ることを目的に、活動実績の評価で優れた成績を収めた事業所に対し、環境表彰を行っております。



環境委員会風景



## 環境マネジメント



## 地球温暖化防止への取り組み

温室効果ガスによる地球温暖化は、私たち人類の永続的な生存を脅かす、大変深刻な問題となっています。 地球温暖化により、海面上昇、地球上の気候分布の変化、予測なく極寒及び極暑の地域の発生、 農作物や生態系の影響等が予想されます。

北陸電気工業グループでは、深刻な問題となっている地球温暖化の抑制を図るため、

省エネ委員会を設置し省エネ活動によるCO2排出量削減に努めております。

省エネ委員会では、エネルギー源となっている電力、灯油、重油、LPG、ガソリン、

軽油等の使用量を削減する事を中心に活動を進めています。

## 廃棄物への配慮

北陸電気工業グループでは、廃棄物処理関連法令に基づいて処理を行い、

分別及びリサイクルの徹底を図り減量化に努めています。

廃棄物問題は廃棄物を最終処分する埋め立て処分場不足の問題と、

埋め立てられた廃棄物の中に含まれる有害物による土壌・地下水汚染の問題といえます。

従って、廃棄物の発生量を削減する事と発生した廃棄物を

再使用、再利用する事が重要となります(3R(Reduce, Reuse, Recycle)の推進)。

北陸電気工業グループにおいてもそれらに目を向け活動を行い、廃棄物重量は毎年減少してきています。

今後は、更に減少するべく努めるとともにゼロエミッションに向けての活動を推進いたします。

## 製品含有化学物質管理

EU(欧州連合)のELV指令、RoHS指令およびREACH規則をはじめとして

国内外の有害物質関連の規制が益々厳しくなってきております。

北陸電気工業グループでは、製品含有化学物質管理システムを

環境マネジメントシステム(EMS)に含めて構築し化学物質管理を進めています。

今後も国内外の化学物質規制に対応させるべく、現況の管理システムの見直しを進めて参ります。

## グリーン調達

北陸電気工業グループでは、グリーン調達に対する考え方をグリーン調達規定にまとめ、 お取引先様にご理解を頂きながら規制されている含有化学物質を低減、削減するシステムを構築し、 グリーン調達を推進しています。

### グリーン調達の取り組み

## お取引先様と一体となって、環境にやさしいものづくりに取り組んでいます。

環境にやさしいものづくりは北陸電気工業グループのみが環境負荷低減をするだけでは不十分であり、あらゆる資材を納入していただいているお取引先様にも環境負荷低減に取り組んでいただく必要があります。北陸電気工業グループはQ・C・D・S(品質・コスト・納期・サービス)の調達基準に加えてE(環境への取り組み)をお取引先様の評価する重要な項目としています。既に対応していただいているお取引先様には一層の推進をお願いし、未対応のお取引先様には北陸電気工業グループもそれを支援し、一体となった地球環境保全への取り組みをお願いしています。基本的にはコンプライアンスを満たす取引先様だけから安全な資材を調達いたします。

特に、EUのRoHS指令、ELV指令及びREACH規則に対応するために、お取引先様から原材料・副資材の含有化学物質情報を提供していただき、当社指定使用禁止物質の不使用の保証を依頼しています。今後もお取引先様とともに国内外に通じる環境にやさしいものづくりをめざし、北陸電気工業グループのグリーン調達ガイドラインに対応していただけるお取引先様との取り引きを進めてまいります。

## グリーン調達規定

## クリーンな資材調達のため、 毎年見直しを行っています。

クリーンな資材の調達を目指して、環境負荷がより少ない原材料・部品を優先して購入するため、2003年にグリーン調達ガイドライン(北陸電気工業グループとしての環境管理物質一覧表も含めています)を策定しました。その後、社内では、グリーン調達規定と名称を変え、毎年、見直しを行っています。



グリーン調達規定



## グリーン調達

### ■環境管理物質一覧表

#### 北陸電気工業株式会社環境管理物質一覧表(含有禁止物質) 別紙1

2012.6.1 北陸電気工業株式会社

含有禁止物質 (42種類の化学物質については含有禁止とする) 環境推進室 材料/化学物質群 主な参照法令 樹脂(ゴム、フイルム含む)、塗料、 むキ、顔料、染料 HS指令、REACH規則、ドイツ化学品禁止規則、オランダ 調料、塗料、インキ、耐蝕表面処理、電 さりム制令、デンマーかかさりム禁止令、資源有効利用促 法、EU 包装材指令 刺、はんだ、メッキ浴 カドミウム/カドミ はんだ ウム化合物 包装を 意図的添加禁止かつ20ppm未満 包装材Cd.Pb.Hg.Cr(六価)の総合計 上記以外 進法、EU 包装材指令 意図的添加禁止かつ100ppm未満 意図的添加禁止かつ100ppm未満 包装材Cd.Pb.Hg.Cr(六価)の総 意図的添加禁止かつ100ppm未満 大価クロム/六 価クロム化合物 顔料、塗料、インキ、触媒、防食表面処理、染料、防錆 2 R EU 包装材指令、RoHS指令、資源有効利用促進法 意図的添加禁止かつ1000ppm未満 意図的添加禁止かつ100ppm未満(揮発性 成分がない状態) 上記以外 上版以79 機能(ごん、744点会む)、塗料、 化4、顕料、染料 包装材C4PDHgCr(六価)の総 会材C4PDHgCr(六価)の総 金製材の場合では、1000pm未満 顕料、塗料、インキ、ゴム硬化剤、プラス チック安定剤、電池、ゴム加硫剤、はんだ、 ガラス、快削合金、合金成分、各種樹脂添 加剤、メッキ浴、無電解ニッケルメッキ プロポジション65、EU 包装材指令、RoHS指令、ドイツ化学品禁止規則、資源有効利用促進法 3 R 鉛/鉛化合物 本銀/水銀化合 包装材CdPbHgCr(六価)の総 意図的添加禁止かつ1000ppm未満 物 上記以外 意図的添加禁止かつ1000ppm未満 電池、蛍光材料、接点、温度計、顔料、染料、インキ、ブラスチックへの添加 EU 包装材指令、RoHS指令、资源有効利用促進法 上記以外 意図的添加禁止かつ1000ppm未満 R トリプチルスズ=オキシド(TBTO) 5 塗料、顔料、防腐剤、冷媒、発泡剤 意図的添加禁止かつ1000ppm未満 REACH規則、化審法 三置換有機スズ化合物 塗料、顔料、難燃剤、安定剤、n型ドーバン R 意図的添加禁止かつ1000ppm未満 REACH規則、化審法、ドイツ化学品禁止規則 (トリフ・チルスス (TBT)、トリフェニルスス (TPT)を含む) R ポリ臭化ビフェニル類(PBB類) 意図的添加禁止かつ1000ppm未満 難燃剤 RoHS指令、REACH規則、化審法 R ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE類) 意図的添加禁止かつ1000ppm未満 RoHS指令、REACH規則、化審法 難燃剤 總線油、潤滑油、電機總線媒体、可塑剤、 ポリ塩化ビフェニル類(PCB類) 意図的添加禁止 化審法、REACH規則、ドイツ化学品禁止規則 塗料溶媒、熱媒体 ポリ塩化ナフタレン(塩素原子数が3以上)

### 北陸電気工業株式会社環境管理物質一覧表(含有管理物質、含有報告物質)

2012.6.1 北陸電気工業株式会社 環境推進室

含有管理物質 (当含有管理物質は、対象物品への含有の有無、含有量等を把握しておかなければならない物質)

_					1
NO.	JIG 基準	材料/化学物質群	規制内容	主な参照法令	主な用途例
43		ハロゲン物質(Br、Cl)	Br, CI: それぞれ900ppm未満 Br+CI: 1500ppm未満		難燃剤
44		アンチモン/アンチモン化合物	1000ppm未満	安衛法、バーゼル条約	顔料、塗料、鯉燃剤、安定剤、n型ドーパント
45		赤燐	1000ppm未満		

46	R	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(DEHP)、フタル酸ジブチル(DBP)、フタル酸ブチルベンジル (BBP)、フタル酸ジイソブチル(DIBP)	1000ppm未滿	REACH規則、安衡法	可塑剤、染料、顔料、塗料、インキ、接着剤
47	R	フタル酸ジイソノニル(DINP)、フタル酸ジイソデシル(DIDP)、フタル酸ジーホナクチル(DINP)、フタル酸ジーネナクチル(DINP)、アタル酸ジース・アル(DINP)、皮素数7 を主成分とする炭素数6~8 の分数アルキルを有するクタル酸ジアルキル(DINP)、皮素数7—11 の分数および直鎖アルキルを有するフタル酸ジアルキル(DINPUP)、フタル酸ビス(2・メトキンエチル)(DIMEP)	1000ppm未満	REACH規則、安衛法	可塑剂、染料、颜料、塗料、心牛、接着剂
48	R	リン酸トリス(2-クロロエチル)(TCEP)	1000ppm未満	REACH規則	プラスチック、樹脂、繊維、布材料への難燃 剤
49	R	ヘキサブロモシクロドデカン(HBCDD)	1000ppm未満	REACH規則	ブラスチック、樹脂への難燃剤
50	R	三酸化二ヒ素、五酸化二ヒ素	1000ppm未満	REACH規則	液晶パネルのガラスの消泡剤、清澄剤
51		砒素/砒素化合物 (三酸化二ヒ素、五酸化二ヒ素以外)	1000ppm未満	安衞法、水質汚濁防止法、環境基本法、バーゼル条約	半導体基板、ガラス消泡剤、顔料、塗料、 難燃剤
52	-	ビスマス/ビスマス化合物	1000ppm未満		半導体、合金、半田材料
53	1	臭素系雖燃剤(PBB、PBDE、HBCCD除く)	1000ppm未満	バーゼル条約、WEEE指令付属書 II	難燃剤
54	R	ニッケル/ニッケ ル化合物 長時間皮膚に接する部品	1000ppm未満	安衡法、環境基本法、バーゼル条約	顔料、電池、表面処理剤、電極、ニッケルメッキ
55		セレン/セレン化合物	1000ppm未満	安衛法、廃棄物処理法、環境基本法、バーゼル条約	感光体、顔料、ガラス着色剤、半導体、光 電セル
56		ベリリウム/ベリリウム化合物 (酸化ベリリウム以外)	意図的添加または使用	安衡法、バーゼル条約	セラミックス原料、合金、触媒、時効硬化特性合金材料、パネ用合金材料、はんだ、コ ネクター、各種スイッチ
57	R	放射性物質	意図的添加	EU-D 96/29/Euratom、核原料物質、核燃料物質および 原子炉の規制に関する日本の法、放射性障害防止法	光学特性(トリウム)
58	R	ホウ酸、特定ホウ酸ナトリウム	1000ppm未満	REACH規則	ガラス・ほうろう原料、ニッケルメッキ添加剤
59	R	N.N-ジメチルアセトアミド (DMAC)	1000ppm未滿	REACH規則	反応溶媒、精製溶媒、樹脂溶媒

### (規制内容の関値は個々の製品に対しての許容数値)

含有報告物質 (当含有管理物質は、対象物品への含有の有無、含有量等を把握しておかなければならない物質。含有していない場合、報告は不要。)

NO.	JIG 基準	材料/化字物質群	規制內容	主な参照法令	主な用途例
60		REACH規則 SVHC	納入品の総重量における含有率が1000ppm を越える場合	REACH規則	

## お取引先様に対する教育

## 環境に対する考え方の説明を行っています。

毎年開催する購買方針説明会の中で、グリーン調達ガイドライン の説明を実施し、弊社の環境に対する考え方及び製品含有化学 物質管理に対する要求事項を伝達し、理解を求めています。 又、重点取引先様へは直接訪問し、弊社の考え方について説明

するとともに環境品質保証体制監査を実施しました。今後もサプ ライチェーンを通じた製品含有化学物質管理に取り組んでまいり ます。

### ■お取引先様に対する購買方針説明会風景





## Sensor Innovation 北陸電気工業株式会社

〒939-2292 富山県富山市下大久保3158 TEL 076-467-1111 FAX 076-468-1508

http://www.hdk.co.jp/

